



50000-XMDC-K0S0 N-BOX SLASH SPORTS SUSPENSION

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

使用上の注意

1. サスペンションの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行ってください。
※サスペンションの取り外しに際してブレーキ関係の部品を外す場合、分解整備の対象となるため、認証工場にて交換作業をしてください。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。
2. 本製品の装着により車高が下がりますので（約15mm）、縁石、駐車場の車両止めおよび段差や凹凸路面の通過時は、接地しないよう十分ご注意ください。
3. 本製品は、N-BOX SLASH FFモデル（JF1）への装着を目的として、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので装着したまま車検を受けられます。
4. ヘッドライトオートレベリングシステムについて
適合車両には、車両の姿勢変化に応じて自動的にヘッドライトの光軸を最適化するオートレベリング機構が装備されています。本製品の組み込みにより設定車高が下がる為、専用機材のあるホンダディーラー等でヘッドライトの初期位置学習（本田技研工業㈱発行 N-BOX SLASH サービスマニュアル 参照）を行ってください。この作業を行わないとヘッドライトの照射範囲が変わり夜間走行時の視界が十分確保できない場合があります。
5. 本製品の加工や分解、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
6. 経年変化等により、サスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

TEL. 048-462-3131 / FAX. 048-462-3121 【営業時間 10:00~17:00（土日・祝日除く）】

【仕様表】

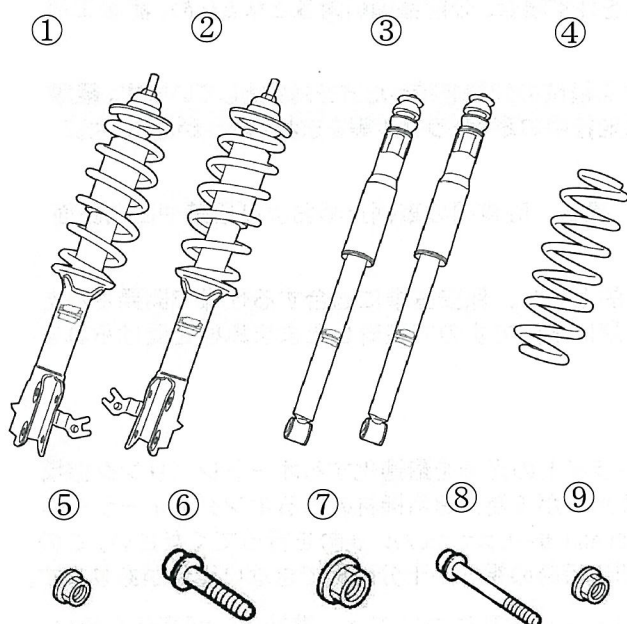
※車高は約 15mm 下がります。車輛の装備、仕様により若干変わることがあります。

	減衰力 (スタンダード比) 0. 3m/s 時 ; 伸び側 / 圧縮側	スプリングレート N/mm	適合車種 [型式]
フロント	151% / 131%	k=25. 0 (k=24. 0)	ホンダ N-BOX SLASH [DBA-JF1]
リヤ	124% / 137%	k=29. 0 (k=23. 0)	

↑ () 内は 14 インチホイール装着車

【構成部品内容】

キット品番 : 50000-XMDC-K0S0



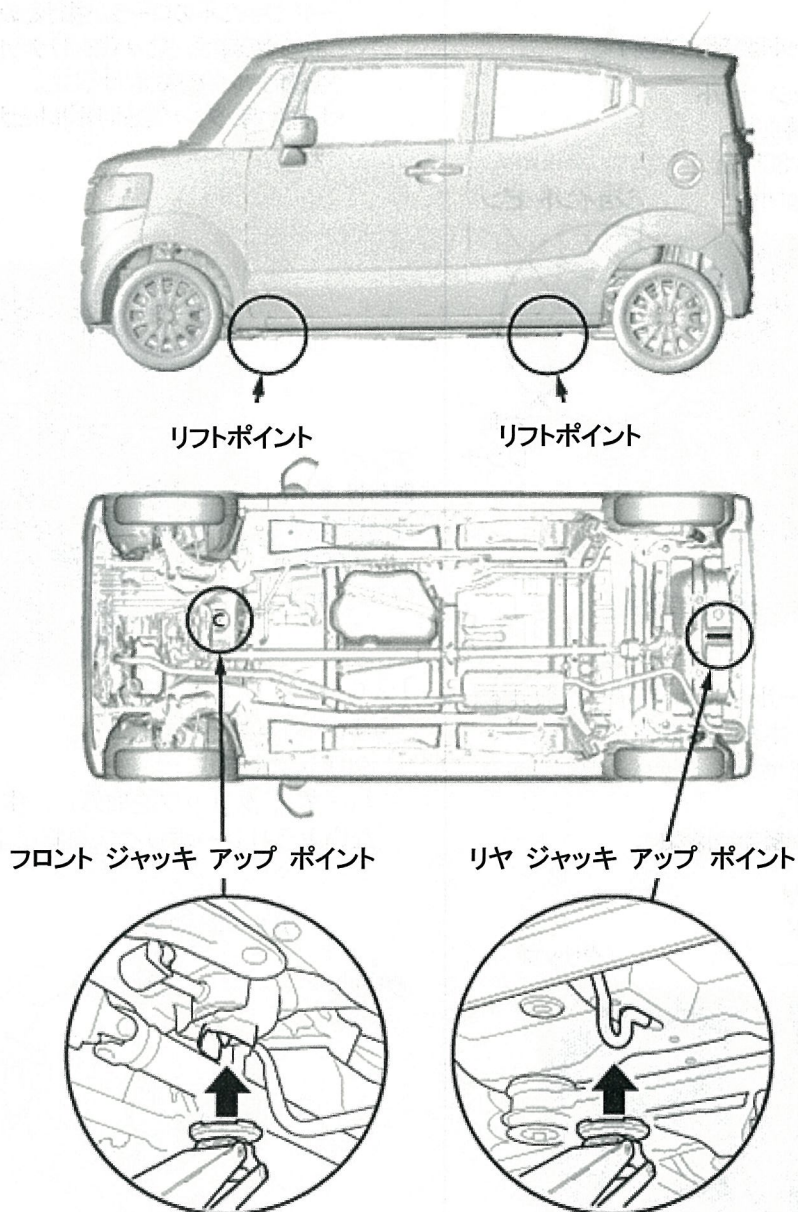
NO	構成品番 品名	QTY
①	51610-XMDC -00S0 DAMPER ASSY,R FR	1
②	51620-XMDC -00S0 DAMPER ASSY,L FR	1
③	52610-XMDC -00S0 DAMPER ASSY,RR	2
④	52441-XMDC -0000 SPRING,RR	2
⑤	NUT,FRANGE 10MM	2
⑥	BOLT,FRANGE 12 × 57	4
⑦	NUT,SELF LOCK 12MM	4
⑧	BOLT,FRANGE 10 × 73	2
⑨	NUT,SELF LOCK 10 MM	2

【必要工具】



【取付準備】

- ①各車輪のホイール ナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



⚠ 注意

- ・ 空車に近い状態で作業を行い、重量物を積載した状態では作業を行わないこと。
- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。
- ・ リヤをジャッキアップする時は、ギヤをPポジション入れること。
- ・ ジャッキアップした場合は、接地している車輪の前後両側に輪止めをすること。

【I. フロント ダンパの車両への組み込み】

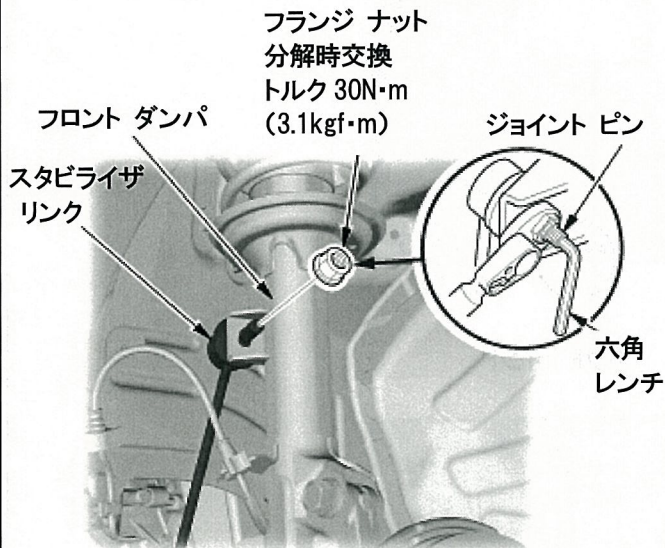
1. STDフロントダンパの取外し

①フロント ホイールを取外す。

②スタビライザ リンクを切離す。

※・ジョイント ピンを六角レンチで保持してフランジ ナットを緩めること。

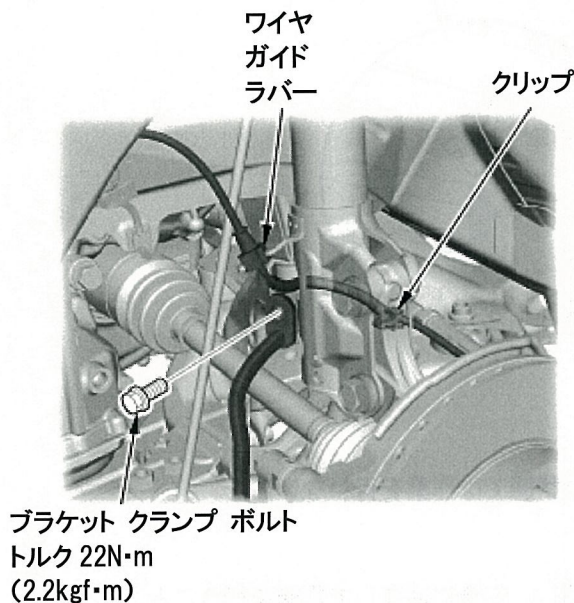
・取り付け時、フランジ ナットは新品に交換する。



③ブレーキホース、ホイールセンサ ワイヤを取外す。
ブラケット クランプ ボルトを取外す。

ホイールセンサのワイヤガイドラバーとクリップをダンパから取外す。

※ホイール センサ コードの接続は外さない。

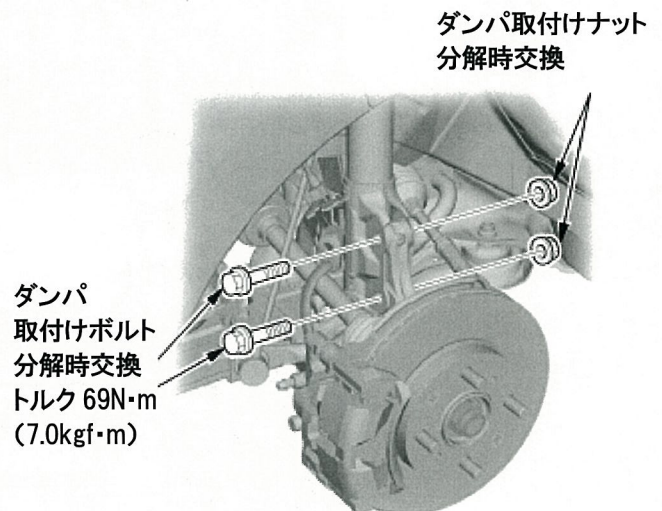


④フロント ダンパ 下部を切離す。
ダンパ取り付けボルトを外す。

※・ナックルを外側へ強く引くと、ドライブ シャフト インボード ジョイントのローラが抜けるので注意すること。

・取付けの際は、ダンパ取り付けナットを保持し、ボルトを規定トルクで締め付けること。

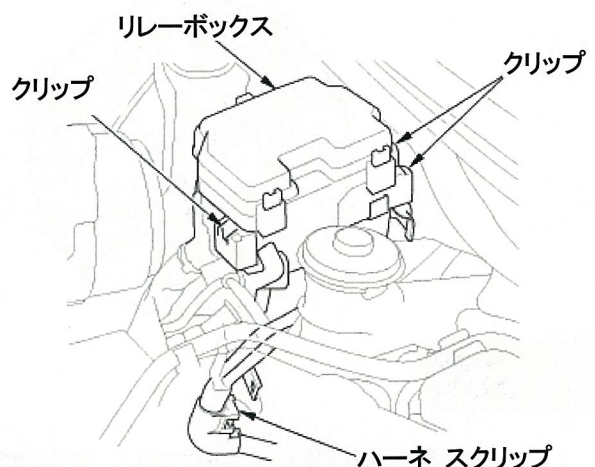
・取付け時、ダンパ取り付けボルトとナットは新品に交換する。



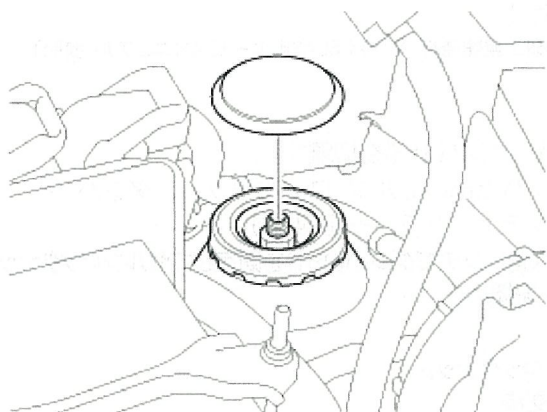
⑤リレーボックス を取外す。

クリップを外す。

ハーネス クリップを取外し、作業の妨げにならないようリレーボックスを脇によせておく。



⑥ダンパ キャップを取外す。(助手席側)



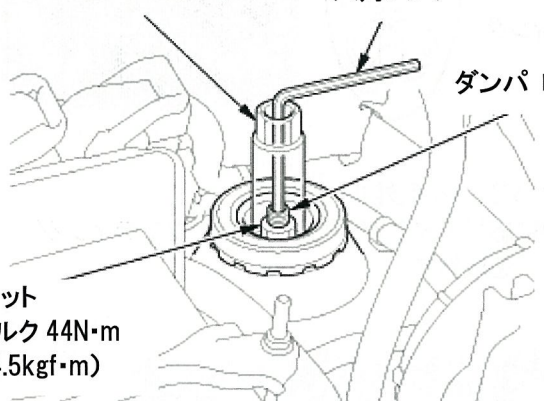
⑦六角レンチでダンパ上部のダンパ ロッドを保持し、ナットを緩める。

07XAA-0010101

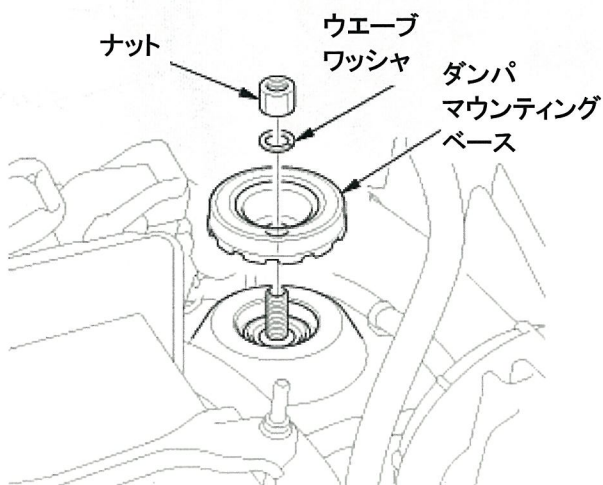
六角レンチ

ダンパ ロッド

ナット
トルク 44N・m
(4.5kgf・m)



⑧ナット、ウェーブ ワッシャおよびダンパ マウンティングベースを取外す。

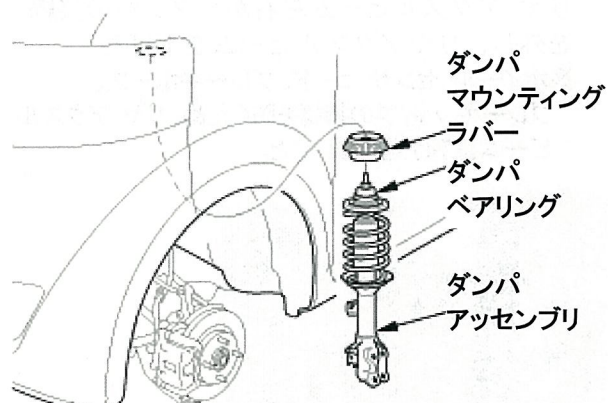


⑨フロント ダンパを取外す。

ダンパ アセンブリを車体から取外し、ダンパ マウンティングラバーを取外す。

※・ダンパ ベアリングのキャップが外れる恐れがあるため、ダンパ マウンティング ラバーはこじらずに取外すこと。

・キャップが外れてしまった場合は、破損が無い点検し、再度ダンパ ベアリングに取付けること。



2. 無限 フロントダンパの取付け

※・取付けは取り外しの逆の手順で行う。

・ダンパ アセンブリの左右を確認してから取り付け始めること。

【Ⅱ. リヤダンパ・スプリングの車両への組み込み】

1. STDリヤダンパ・スプリングの取外し

①リヤ ホイールを取外す。

②リヤ ダンパ下部を切離す。

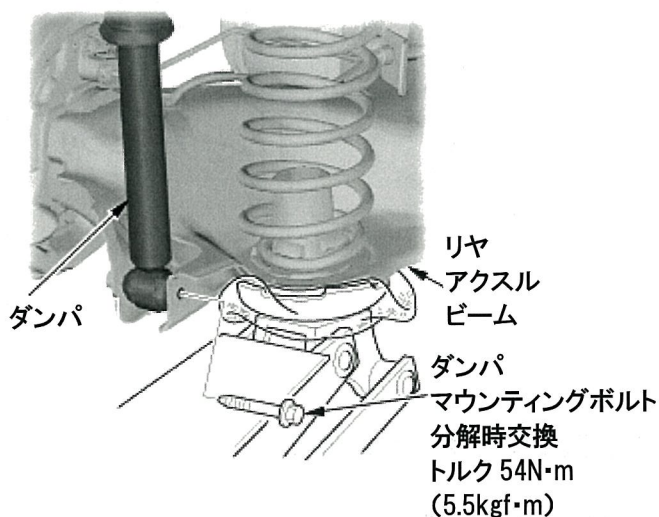
リヤ アクスルビームの下にウエスなどを介しジャッキを当て、サスペンションを支える。

※リヤ アクスル ビームの中央(トーション ビーム)部にジャッキをかけないこと。

※スプリング ロア マウンティング ラバー下部の突起を傷つけないようにジャッキを当てること。

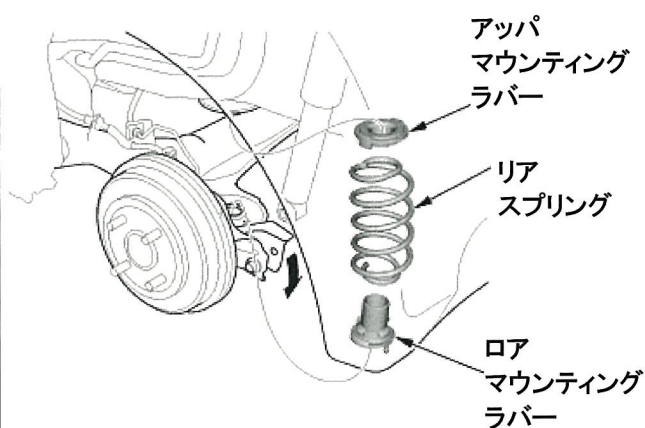
リヤ アクスルビーム左右からダンパの接続を外し、リヤアクスルビームを下げる。

※ホイール センサ コード、ブレーキホース、ブレーキ パイプの損傷を防ぐため、リヤ アクスルビームを下げ過ぎないこと。



③リヤ スプリングを取外す。

スプリングからアッパ マウンティング ラバーとロア マウンティング ラバーを取外す。



④室内のカーゴ サイド ライニングを必要分取外す。

(本田技研工業㈱発行 N-BOX SLASH サービスマニュアル 参照)

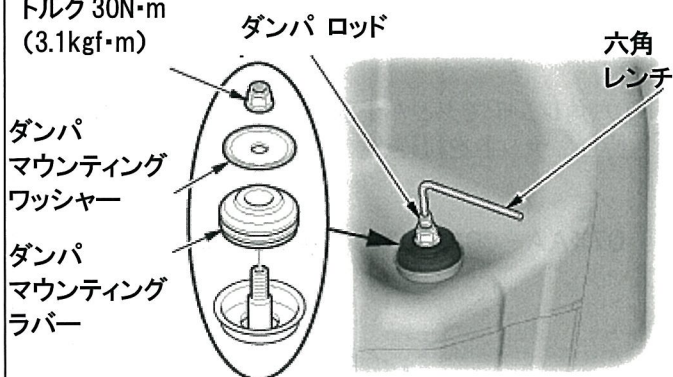
⑤リヤ ダンパ上部を切離す。

ダンパ上部のセルフ ロックナット、ダンパ マウンティングラバーを取外す。

※六角レンチでダンパロッドを固定してセルフロックナットを緩める。

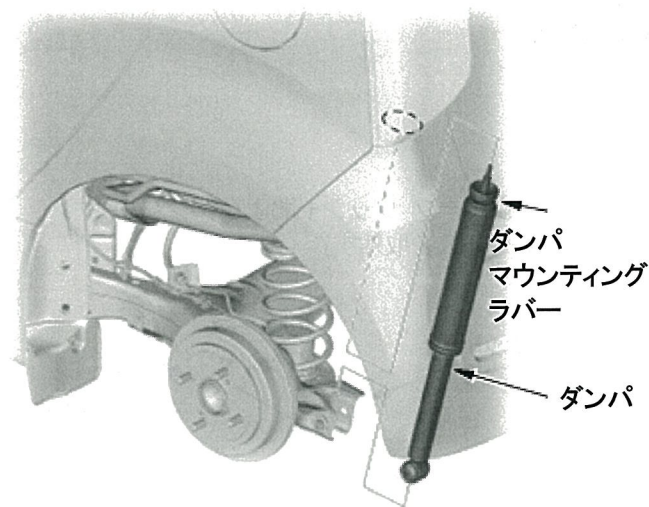
セルフ ロックナット
分解時交換

トルク 30N・m
(3.1kgf・m)



⑥リヤ ダンパを取外す。

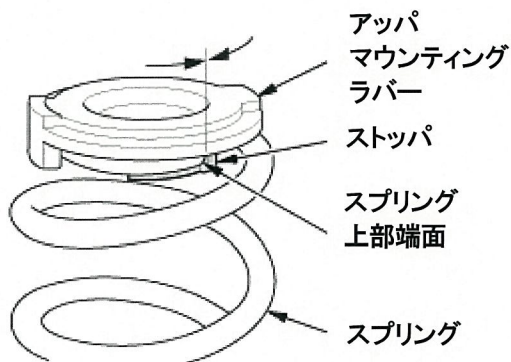
必要に応じてダンパからダンパ マウンティング ラバーを取外す。



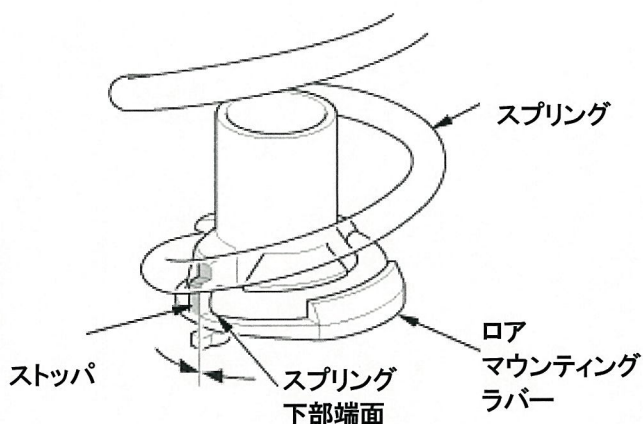
2. 無限リヤダンパ・スプリングの取付け

①リヤ スプリングを取付ける。

スプリングにアップ マウンティング ラバーを取付け、スプリング上部端面をアップ マウンティング ラバーのストッパに突き当てる。



スプリングにロア マウンティング ラバーを取付け、スプリング下部端面をロア マウンティング ラバーのストッパに突き当てる。

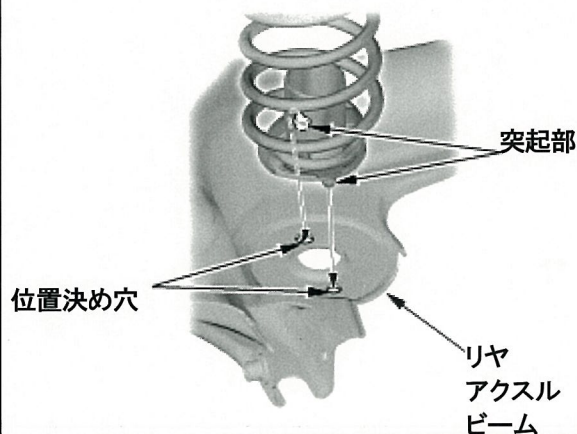


ロア マウンティング ラバーの突起部に石鹼水を塗布しロア スプリング シートの位置決め穴に合わせて取付ける。

※石鹼水は中性洗剤を水で50%に薄めた水溶液を用いる。

※リヤ アクスル ビームにロア マウンティング ラバーの突起が確実にはめ込まれていることを確認する。

※取付け後、ラバー、ストッパおよび他のゴム部分がスプリングにかみ込まれていないことを確認する。



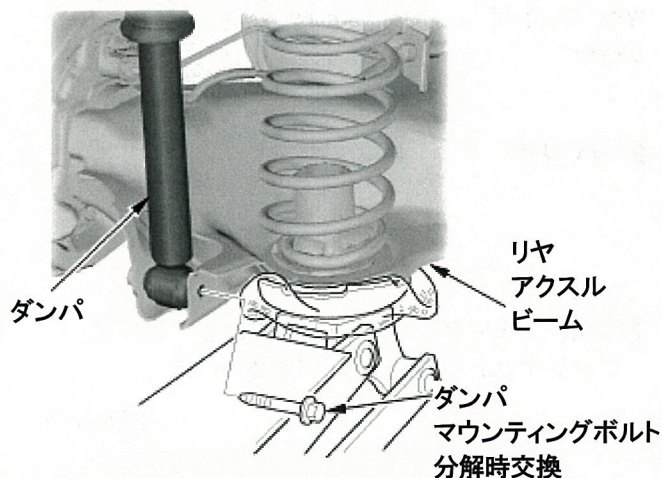
②リヤ ダンパ下部を接続する。

リヤアクスル ビームの下にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。

※・リヤ アクスル ビームの中央(トーション ビーム)部にジャッキをかけないこと。

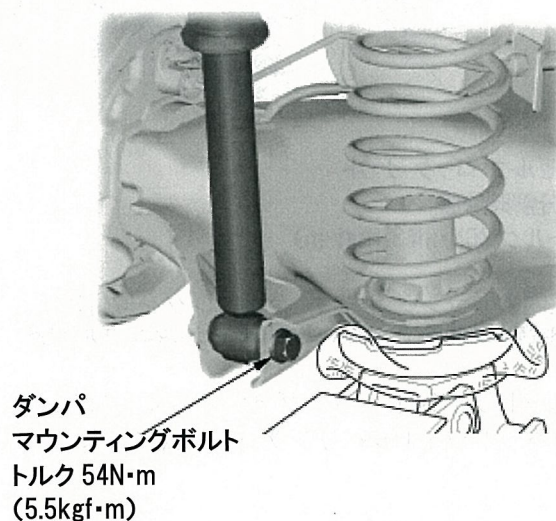
・スプリング ロア マウンティング ラバー下部の突起を傷付けないようにジャッキを当てること。

左右のダンパをリヤ アクスルビームに新品のダンパ マウンティングボルトで接続し、仮締めする。



③リヤ ダンパ下部を締付ける。

ジャッキでサスペンションを持上げて車重をかけ、ダンパ マウンティング ボルトを規定トルクで締付ける。



④リヤ ダンパ上部を接続する。

車重をかけ、室内側からダンパ ロッドにダンパマウンティングラバー、ダンパマウンティング ワッシャ、新品のセルフ ロックナットを取付ける。

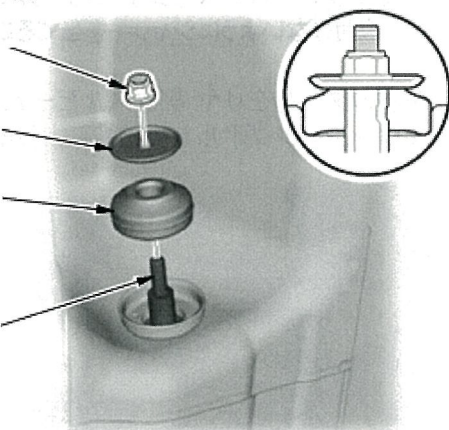
※ワッシャとラバーは取付け方向に注意する。

セルフ ロック ナット
分解時交換

マウンティング
ワッシャ

マウンティング
ラバー

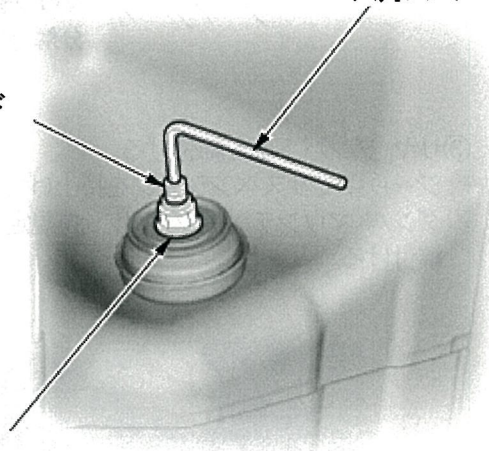
ダンパ ロッド



⑤六角レンチでダンパ ロッドを固定してセルフ
ロックナットを規定トルクで締付ける。

六角レンチ

ダンパ ロッド



セルフ ロック ナット
分解時交換
トルク 30N・m(3.1kgf・m)

⑥室内のトランク サイド ライニングを取付ける。
(本田技研工業㈱発行 N-BOX SLASH サービスマニュアル 参照)

⑦ヘッドライト レベリング センサを取付ける。
(ヘッドライトレベリングシステム装着車)

【Ⅲ. 組込み後の注意】

- ①各部を点検し、ホイールを取付ける。
- ②車体を着地させ、ホイール ナットを規定トルクで締付ける。
※ホイール ナット トルク 108N・m (11.0kgf・m)
※本製品組み込み後は、STDサスペンション組込み時よりも車高が下がるので、ジャッキをおろす際は、十分注意すること。
- ③ホイール アライメントを点検し、必要な場合は調整をする。
- ④サービスマニュアルに従ってVSAセンサの中点書込みを行う。
- ⑤ヘッドライトの初期位置学習を行う。（ヘッドライトレベリングシステム装着車）

参考 アライメント基準値

	キャンバー	キャスター	トータルトー(mm)
前輪	0° 05' ±30'	4° 10' ±30'	0 ±2
後輪	- 1° 30' ±30'		4 ±2

⚠ 使用上の注意

- ・取り付け直後は極端な悪路での走行や急激な運転操作をさせて慣らし運転をし、異音やガタつきがないことを確認してください。（100～300kmを目安に一般道で慣らし走行することで各部を馴染ませ、より安定した性能を維持することができます。）
- ・定期的にボルト、ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。
- ・本製品は純正品に比べスポーツ走行を意識したセッティングの為下記のような音が出る場合がありますが異常ではありません。
ゴムがこすれるような「ギュッ、ギュッ」音…本製品はローダウン設計の為、リヤスプリングの線間密着音を防止する為のラバーチューブがスプリングに巻いてあります。走行時このゴム同士がこすれる事で音が出る場合がありますが仕様上のものであり、異常ではありません。
ダンパの作動音「シュッ」または「コッ」音…本製品は純正品に比べ減衰力を高く設定している為ダンパの作動音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
- ・経年変化等によりサスペンションキットの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等して下さい。
※本製品は非分解式のためオーバーホールを行う事はできません。

- ・本製品は補修用として、ダンパASSY単位での購入が可能です。お買い求めの際は近隣のホンダ ディーラーもしくは無限製品取扱店にご相談下さい。
- ・商品の管理には万全を期しておりますが、万が一問題が発生した場合は下記にご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121 【営業時間 10:00～17:00 (土日・祝日は除く)】

